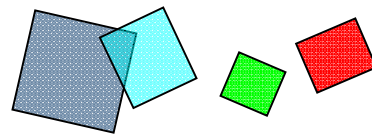


勇 ゆう 気 き 凛 りん 凛 りん ㊼



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【受賞】 岐阜県ワークライフバランス推進エクセレント企業に認定

【新商品 PR】 新ジャンルの金属製家具を PR

西濃地区中支部：(株)エイワ 代表取締役 佐藤全良

同社は、仕事と家庭の両立支援や女性の活躍推進のロールモデルとなる企業として、今年度の岐阜県ワークライフバランス推進エクセレント企業に認定された。(2022. 2. 18 岐阜新聞掲載)

同社はデザイン会社との協業で、パーツを組み合わせていろいろな形を自由に行うことができる金属製家具を開発。大垣商工会議所が行った「新商品・新サービス合同プレス発表会」にて商品紹介を行った。(2022. 2. 24 中部経済新聞掲載)

【開発】 岡山大学病院と共同で救急隊員らを新型コロナから守る救急搬送用シールドを開発

岐阜地区北支部：(株)ハイビックス 代表取締役 高井順子

岡山大学病院は、リハビリ用器具や床ずれ防止マットなどの製品を手がける同社の技術に着目。限られた空間に収納できストレッチャーにフィットする救急搬送用シールドを、2年かけて共同で開発した。気道確保や心肺蘇生などの措置にも対応。すでに岡山市消防局などに採用されている。

(2022. 2. 22 中部経済新聞掲載)

【新規参入】 アグリ事業部を立ち上げ、農業に参入

西濃地区中支部：中部事務機(株) 支店長 岩田昇

同社は、農業従事者の減少や休耕地の拡大といった社会問題、食品の安全志向の高まり、IoTによるシステム構築の展開や定年を迎えた再雇用社員の活躍の場の創出などから、農業へ新規参入。各務原市の耕作放棄地で、コーヒーとパイナップルの試験栽培を行う。今後、栽培する商品の種類を増やすとともに販売システムの販売も目指し、収益化をめざす。(2022. 2. 26 岐阜新聞掲載)

【社会奉仕】 「ぎふハッピーハッピープロジェクト」覚書に調印

岐阜地区南支部：(株)文化社 代表取締役 所貴佳

同社は、売上の一部を福祉団体に寄付することで団体の安定的な収入源確保につなげる「ぎふハッピーハッピープロジェクト」の覚書に調印した。市内の企業7社と3団体が社会奉仕活動で連携し、企業の社会貢献をアピールするとともに、市民の消費活動を寄付に結びつけていく。(2022. 3. 10 岐阜新聞掲載)

【コラボ商品】 異業種とコラボしたギフト商品を企画

東濃地区：(有)鈴研 陶業 代表取締役 鈴木耕二

同社は多治見市の洋菓子店とコラボし、美濃焼タイルアクセサリー「マスクチャーム」にケーキとホワイトチョコレートセットしたギフト商品を企画。ホワイトデー向けのギフトとして、中小機構中部本部が主催するイベント『暮らしにギフト』に出展し、イベント限定で販売する。

(2022. 3. 11 中部経済新聞掲載・3. 12 岐阜新聞掲載)

【新商品】 災害時に役立つ多機能の防災ばさみを商品化

中濃地区関美濃支部：ニッケン刃物(株) 代表取締役 熊田祐士

同社は、防災士の監修のもと、ペットボトルオープナーや缶のプルタブ起こし、段ボール開梱用のオープナーの機能を兼ね備えた防災はさみ『Supporter』を商品化、クラウドファンディングで発売した。持ち手部分は蓄光素材を使っており、暗い場所で光る。色は2種類、送料込3,200円。

(2022. 3. 12 岐阜新聞掲載・3. 16 中日新聞掲載)

勇 気 凛 凛

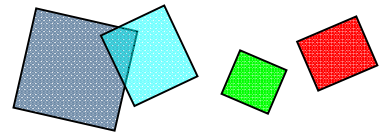
ゆう

き

りん

りん

㊤



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【展示販売】恒例の展示販売会『大黄金博』開催

岐阜地区南支部：(株)岩田時計舗 代表取締役 岩田誠三郎

同社は2月11～13日、恒例の『大黄金博』を開催する。今回はミッキーマウスやハローキティをかたどった純金小判や純金のシマフクロウなど、約200点を展示。岐阜市に寄贈したJR岐阜駅前の『黄金の織田信長像』縮小版も展示される。
(2022. 2. 12 岐阜新聞掲載・中日新聞掲載)

【新商品】「春」を感じられる新商品2種販売

西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則

同社は2月18日から21日までの間、和菓子の詰め合わせ『和みのじかん～如月』と洋菓子『ふじりんごと洋なしのタルト』を直営店舗にて限定販売する。それぞれ税込1200円と1,580円。
(2022. 2. 15 中部経済新聞掲載)

【新規事業】タイルの新しい価値創造を目的にジュエリーシリーズ『リジュイル』立ち上げ

東濃地区：(有)鈴研 陶業 代表取締役 鈴木耕二

同社は2013年からタイル素材を用いたアクセサリーの製造販売を行っているが、新たに規格外のタイルと釉薬を再利用したジュエリーシリーズ『リジュイル』を立ち上げた。2月末までクラウドファンディングのモーショングャラリーで先行販売。そこでの反響を踏まえ、4月12日から一般販売する予定。
(2022. 2. 17 中部経済新聞掲載)

【地域貢献】大垣市の3社がSDGs事業として不要のクレヨンを再生、大垣市に寄贈

西濃地区南支部・岐阜地区南支部：サンメッセ(株) 西濃地区中支部：(株)リリフル 代表取締役 金森律子

短くなったクレヨンを回収して再生し子どもたちに贈る『マーブルクレヨンプロジェクト』の一環として、大垣市にマーブルクレヨンとクレヨンを入れる巾着のセット1316個、マーブルクレヨンプロジェクトノート3万8200冊を寄贈した。
(2022. 2. 17 中部経済新聞掲載)

【地域貢献】創立50周年を記念して大垣市に100万円寄贈

西濃地区南支部：(株)デリカサイト 代表取締役 堀富則

同社は創立50周年を記念して、市民の健康や子育て支援の充実に役立ててもらうため、大垣市に100万円を寄贈した。
(2022. 2. 17 中部経済新聞掲載)

【効率化】BMI導入により省力化。業界の人手不足解消をめざす

東濃地区：有建築設計舎 代表 坂崎有祐

同社は3年前からBMI（使用する建材や設備の情報をコンピューターに入力し、それらのパーツを使って建てる建築物の立体モデルを作成する設計技術）を本格的に導入し、若手社員が活躍できる場づくりに注力している。経験の少ない若手も仕事がしやすく、作業時間の削減、ミス防止に効果があり、働き方改革により、慢性的な建築業界の人手不足の解消をめざす。
(2022. 2. 20 岐阜新聞掲載)

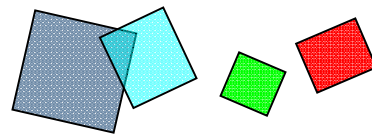
【認定】本年度の岐阜市『ぎふし共育・女性活躍企業』に認定

岐阜地区北支部：村瀬建築(株) 社長 村瀬賢一

同社は特に男性の主体的な育児参画を積極的に勧めていることが評価され、本年度の『ぎふし共育・女性活躍企業』の認定を受けた。
(2022. 2. 20 岐阜新聞掲載)

勇 気 凛 凛

ゆう き りん りん ④



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【地域貢献】子育て世帯にカレーを2000食無料配布

東濃地区：スパイスファクトリーあべべ 代表 小島佑摩

毎月第一金曜日に開いている子ども食堂「あべべ食堂」の活動を普及するため、地元の有志12人とともに、子育て世帯にカレーライスを無料配布した。クラウドファンディングで集まった128万円を活用、地元企業から食材の提供も受け、通常の6倍ほどの2000食を提供した。
(2022.1.24 中日新聞掲載)

【新商品】バレンタイン向け商品販売

西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則

同社はバレンタインデーに向け『カキショココラ3種』と『お濃茶ショココラ山なみせんべい』を新発売した。カキショココラは昨年販売し好評だったため、ホワイトチョコレートとルビーチョコレートを使用した2種類を追加。3枚入750円で3月中旬まで、山なみせんべいは1個200円で5月末まで販売する。
(2022.1.22 中部経済新聞掲載・1.25 中日新聞掲載)

【地域貢献】『戦争体験聞き書き』第16集を発行

岐阜地区各務原支部：生活協同組合コープぎふ 理事長 大坪光樹

当協組は岐阜新聞社・岐阜放送と共催し、2005年から毎年作文を募集、戦争体験者の声や平和への願いを冊子にして発行している。第16集は、戦争体験聞き書きを6編、戦争体験談6編を収録。公立図書館などで閲覧可。希望者には350円で販売する。
(2022.1.26 岐阜新聞掲載)

【事業拡大】協同薬品工業を子会社化。配置薬事業のシェア拡大を図る

中濃地区関美濃支部：河上薬品商事(株) 代表取締役 河上宗勝

4月にJA全農向けにクミアイ家庭薬を製造販売している山形県の協同薬品工業を子会社化。同社グループの顧客は120万世帯を超えることとなり、業界再大手の富士薬品に次ぐ規模となる。子会社の社長は河上氏が兼務、約500人の販売員の雇用は継続する。
(2022.1.28 岐阜新聞掲載)

【新商品】合格ストラップ販売

西濃中支部：(有)大橋量器 代表取締役 大橋博行

同社は、受験生向けに「合格」と掛けた五角形の升の『合格ストラップ』を販売する。国産ヒノキを利用した職人の手作り品。カラーは9種類で1個1,320円。
(2022.2.1 中部経済新聞掲載)

【イベント】厄よけや新型コロナウイルス収束の願いも込め、恒例の『立春朝搾り』開催

岐阜各務原支部：小町酒造(株) 常務取締役 金武直歩

『立春朝搾り』は日本名門酒会が立春に行う縁起物の行事。全国の44蔵が実施したが、県内は小町酒造のみ。例年、地元の酒販店主らも参加するが、今回は感染防止のため従業員約10名で瓶詰めからラベル貼りまで行い、同蔵の代表銘柄である純米吟醸生原酒『長良川』2,500本を出荷した。720ml入り1本1,760円。
(2022.2.5 岐阜新聞・中日新聞掲載)

【表彰】大垣市の2021年度『男(ひと)と女(ひと)のかがやきまちづくり』表彰

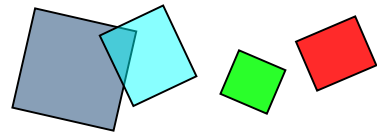
西濃地区北支部：(株)大垣ケーブルテレビ 代表取締役 五十川智宣

西濃地区中支部：(株)ユニテック 代表取締役 古堅宗信

両社は、大垣市より、男女共同参画社会づくりを積極的に推進している事業者として、2021年度の『男と女のかがやきまちづくり』に選ばれ、表彰された。
(2022.2.10 中部経済新聞掲載)

勇 気 凛 凛

ゆう き りん りん ㊤



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【SDGs】カーボンニュートラル宣言を発表し、100社規模の協力業者会と連携協定

岐阜地区南支部：三承工業(株) 潮大地

同社は2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目標とするカーボンニュートラル宣言を発表、取引先と一体になって進めるために協力業者会と連携協定を結んだ。今回の宣言や協定により中小企業の脱炭素化のモデルとなり、県や市の企業で集中的に取り組みが進む『脱炭素ドミノ』をめざす。

(2021. 12. 28 岐阜新聞掲載)

【新商品】壁に取り付ける仏壇『NUKUMORIの窓』を販売

岐阜地区南支部：(株)やまもく 代表取締役 山田等

同社は幅43.7センチ・高さ27センチ・奥行き15センチの仏壇『NUKUMORIの窓』を発売した。フォトフレーム、仏具5点つきで33,000円。金具を壁に固定しフックにかけるだけで取付可能。都市部に住む40、50代の女性をターゲットに見込む。

(2021. 12. 29 岐阜新聞掲載)

【地域貢献】瑞穂市と、災害発生時、避難所に必要物資を供給する協定締結

岐阜地区北支部：(株)ハイビックス 代表取締役 高井順子

同社は瑞穂市と、災害発生時にエアーマットレスを避難所に供給する協定を結んだ。エアーマットレスは同社が過去に水害を経験したことから開発された製品で、保管時はコンパクトに収納できる。あわせて空気で膨らます枕などの自社製品も供給し、避難所での生活の負担軽減につなげる。

(2022. 1. 5 岐阜新聞掲載)

【新商品】春の定番商品『淡墨のさくら大福』リニューアル

西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則

同社は、材料のもち米『こがねもち』の比率を上げ、あんを北海道産小豆と砂糖、水のみ配合に変えて、『淡墨のさくら大福』をリニューアルした。あわせてパッケージも、桜の花を全面にあしらったデザインに変更。ウェブサイトや大垣市内外7店舗にて、1個180円で販売する。

(2022. 1. 13 中日新聞掲載)

【地域貢献】JR岐阜駅前の『黄金の織田信長像』縮小版を岐阜市に寄贈

岐阜地区南支部：(株)岩田時計舗 代表取締役 岩田誠三郎

同社は創業85周年を迎えるにあたり岐阜市の新庁舎に貢献しようと、自社で販売もしている信長像を寄贈した。岐阜駅前の像と同じ彫刻家の田畑功さんのデザインで、ブロンズ像に金箔が貼られている。ケースと設置台を含めて約120万円。

(2022. 1. 15 岐阜新聞掲載)

【新商品】人気ゲームとのコラボ商品販売第2弾発売

中濃地区関美濃支部：ニッケン刃物(株) 代表取締役 熊田祐士

同社は人気ゲーム『刀剣乱舞—ONLINE—』とコラボしたペーパーナイフを販売しているが、新たに人気キャラクター「山姥切国広」「山姥切長義」をモデルにした2種類のペーパーナイフを販売する。掛け台付きで1本4,400円。

(2022. 1. 18 岐阜新聞掲載)

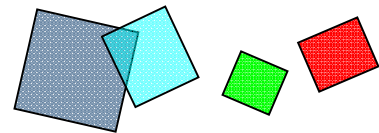
【社会貢献】子どもや若者を支援するNPO法人に14万200円を寄付

岐阜地区南支部：(有)ウメイチ 代表取締役 梅田益生

同社は、5年前から新成人の写真撮影や貸衣装の利用1件につき100円を積み立て、子どもや若者を支援するNPO法人『ぎふハチドリ基金』に寄付している。今年は1402人分が集まり、14万200円を贈呈した。

(2022. 1. 21 岐阜新聞・中日新聞掲載)

勇氣凛凛



… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【新商品】ギターデザインの事務用はさみ『Seki Sound』開発・販売

中濃地区関美濃支部：ニッケン刃物㈱ 代表取締役 熊田祐士

代表的なエレキギターであるストラトキャスターをモチーフに、実物のボディの丸みや弦、フレット、スタンドを再現した事務用はさみ『Seki Sound』を開発した。職人が1本1本刃付けを行うため、切れ味もよい。クラウドファンディングで先行販売を開始、支援目標である50万円の達成も目前。

(2021.12.20 中部経済新聞・2022.1.6 岐阜新聞掲載)

【イベント開催】多文化共生をテーマにしたイベント開催

岐阜地区南支部：三承工業㈱ 潮大地

同社は12月19日、JR岐阜駅前信長ゆめ広場などで多文化共生をテーマにイベントを開催した。習字や日本の伝統工芸品に触れられるコーナー、防災をテーマにしたブースなどが設けられ、市民と外国人らが交流を深めた。

(2021.12.21 岐阜新聞掲載)

【新サービス】『Tajimingo<タジミンゴ>』の試験運用で配送を担う

東濃地区：㈱平中サービス 代表取締役 伊藤雅也

トーカイ薬局は、多治見市内限定のオンラインショップと配送のサービス『Tajimingo』の試験運用を開始した。スーパーマーケットのオオマツフードも参加。平中サービスが、市役所本庁舎などに設置された専用ロッカーに薬や日用品を配送する。一部地域は宅配も実施。来年1月7日からは、市内の飲食店3店舗の弁当宅配もスタートする、多治見市民、市内在勤、在学者のみ利用可能。

(2021.12.22 中日新聞掲載)

【新商品】『柿サブレ』リニューアル

西濃地区南支部：㈱槌谷 代表取締役 堀富則

同社は、堂上蜂屋柿でつくった干し柿ジャムや県産ハツシモの米粉を使用、外観も干し柿の形に変え、1960年から販売している定番商品『柿サブレ』をリニューアルした。4枚入り780円。数量限定で来年の干支の寅などをプリントしたプティ柿サブレも販売する。(2021.12.25 中日新聞掲載・12.27 中部経済新聞掲載)

【地域貢献】過疎地の課題解決について小中学校と取り組む

西濃地区南支部・岐阜地区南支部：サンメッセ㈱

同社はSDGsの観点から、県内の過疎地の小中学校とともに地域の課題解決への取り組みを始めた。郡上市美並町の郡南中学校や大垣市上石津町の多良小学校にて、同社の田中信康取締役が講義。郡南中では郡上市に対しての未来への提案、多良小では跡地利用について、同社が助言・提案を行っていく。

(2021.12.27 岐阜新聞掲載)

【新商品】来年の干支「寅」にちなんだもなか販売

中濃地区関美濃支部：(有)虎屋 代表取締役 古田敦資

同社は12月28日から、来年の干支の寅にちなんだもなか『干支最中～寅』を発売する。北海道産の小豆を使ったあんや栗の甘露煮一粒が丸ごと入っており、1個230円で販売。予約注文も可能だが、なくなり次第、販売終了。

(2021.12.27 中日新聞掲載)

【認定】女性活躍推進への取り組みが優良な事業者『えるぼし』認定

西濃地区中支部：社会保険労務士法人杉原事務所 所長 杉原浩志

同事務所は、正社員や管理職に占める女性労働者の割合、月別平均残業時間などの5つの認定基準のうちの4基準を満たし、県内で10社目となる2段階目の認証を受けた。

(2021.12.29 岐阜新聞掲載)